

# 田植え後の強風と日照不足で生育が遅れています

田植え後の強風と低温の影響で植え傷みが目立ちます。

一方、好条件下で植えた田んぼでは、分けつの発生が始まっておりほ場によって生育の進みが大きく異なっています。

適正な水管理で、初期生育(分けつ)を確保しましょう。

## 1 5月30日現在の生育状況(品種:コシヒカリ 拠点ほ場9か所の平均)

●草丈、茎数、葉数の生育の進みはいずれも前年より遅れています

	本年 (分施体系)	前年 (前年比・差)	目標値 (カインダ <sup>®</sup> -生育目標値比・差)	本年 (*一発)
草丈(cm)	22	25(88)	24(92)	24
茎数(本/m <sup>2</sup> )	82	135(59)	90(91)	68
葉数(枚)	4.7	6.0(-1.2)	5.3(-0.6)	4.5

\*一発: H30 から基肥一発体系(全量基肥施肥)数値を参考として掲載します

## 2 今後の管理ポイント

- (1) 浅水管理(3cm程度)で、分けつ発生を促しましょう。アオミドロが発生しているほ場(ただし用水の確保が容易なほ場)では、水の更新を行いましょう。
- (2) ワキの発生がみられる田んぼでは、夜干し(夜間に落水)を行い、土中の根に酸素を供給しましょう。
- (3) 生育を確認し、田植え後35日を目安に落水し、本格的に中干しを始めましょう。(50~60株/坪植えでは茎数が1株あたり15本程度の時)
- (4) 補植苗は、病害虫の発生源となるのですみやかに撤去しましょう。

この看板のほ場での中干し指導会は

月 日 : ~です。

